

# 保 健

## I 教科、種目の観点

資料作成に当たっては、共通観点の他に、学習指導要領(平成29年3月)に示された各教科の目標や内容等に即して検討し、教科独自の観点を定めた。

1 教育基本法の理念や第三期長崎県教育振興基本計画の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長	
共通 観点	(1) 教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、「本県教育が目指す人間像」の育成に資する内容、構成となっているか。
	(2) ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長	
共通 観点	(1) 基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得されるよう工夫されているか。
	(2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されているか。
	(3) 主体的に学習に取り組む態度が身に付くよう工夫されているか。
教科 独自 観点	(4) 健康の大切さを認識するとともに、家庭や学校における毎日の生活に関心を持ち、健康によい生活を続けることについて理解を深める内容、構成になっているか。
	(5) 年齢に伴う発育・発達の変化及び個人差と思春期の体の変化などについて理解を深める内容、構成になっているか。
	(6) 心は年齢とともに発達すること及び心と体は相互に影響し合うことについて理解できるようにするとともに、不安や悩みを緩和するための簡単な対処の方法を行うことができるような内容、構成となっているか。
	(7) けがが発生する原因や防止の方法について理解できるようにするとともに、けがの簡単な手当てができるような内容、構成になっているか。
	(8) 病気の発生要因や予防の方法、喫煙、飲酒、薬物乱用が健康に与える影響についての理解を深めるとともに、地域において保健にかかわる様々な活動が行われていることについて理解を深める内容、構成になっているか。
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ(ユニバーサルデザイン)等の観点からの表記・表現や体裁の特長	
共通 観点	(1) 文章は、分かりやすく、質・量ともに豊かな記述内容となっているか。
	(2) 写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。
	(3) レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。

## II 選定資料利用上の留意点

- 1 資料の作成に当たっては、設定した観点ごとに、特に目立った事柄を取り上げること。
- 2 利用に際しては、全体を通して総合的に判断し、各教科書の特色をとらえるとともに、地域の実態、その他の条件を考慮して、適正な採択のための資料とすること。
- 3 前記の観点と次表の観点、具体項目とは、対応させて読み取ること。

III 具体項目

観点	発行者	東 書	大日本	大修館
<p>1 教育基本法の理念や第三期長崎県教育振興基本計画の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長</p>	<p>(1) 教科の特質に応じて、「本県教育がめざす人間像」の育成に資する内容の構成と</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>理解を深める図表や文章が4つのステップに分けて示されていたり、各章末に学びを深めたり広げたりする資料コーナーを設けることで、幅広い知識を身に付けることができるよう配慮されている。</li> <li>「体の成長とわたし」では、性と自分らしさに関わる資料を掲載することで、個性や多様性を認め生命を尊重する態度を養うことができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「もっと知りたい」というコーナーを設け、学習したことに関して様々な観点から興味をもちやすい情報を与えることで、幅広い知識を身に付けることができるよう配慮されている。</li> <li>「体の発育・発達」の「もっと知りたい」のコーナーでは、成長を祝う日本の行事を掲載することで、生命を尊び大切にする態度を養うことができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各章末に「学習をふり返ってみよう」というコーナーを設け、学習した知識の定着を図ることで、現在や将来の生活に生かしていこうとする実践的な態度を養うことができるよう配慮されている。</li> <li>「育ちゆく体の変化」では、発育の仕方には個人差があることについて挿絵や図表を用いることで、個性や多様性を認め生命を尊重する態度を養うことができるよう配慮されている。</li> </ul>
	<p>(2) ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「犯罪被害の防止」では、安全マップ作成の目的・視点・注意を例示を用いて掲載することで、本県の地域や郷土の安全への関心を高めることができるよう配慮されている。</li> <li>「自然災害によるけがの防止」では、地震による災害やけがを防ぐ方法について写真や挿絵を多数用いることで、海に囲まれた本県の安全教育との関連を図ることができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「犯罪被害の防止」では、安全な環境づくりとして地域の人が行っている取組を写真で掲載することで、本県の地域や郷土の安全への関心を高めることができるよう配慮されている。</li> <li>「自然災害から身を守る」では、地震や集中豪雨などの自然災害に対する備えを学習する資料を掲載することで、海に囲まれた本県の安全教育との関連を図ることができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「よりよい成長のために」では、本県で盛んな農業・水産業に関係する野菜や魚の挿絵を取り扱うことで、地産地消の推進や食育との関連を図ることができるよう配慮されている。</li> <li>「自然災害から身を守る」では、様々な自然災害について過去の写真を用いることで、水害や噴火などを経験した本県の安全教育との関連を図ることができるよう配慮されている。</li> </ul>

III 具体項目

観点	発行者	文教社	光文 学研
<p>1 教育基本法の理念や第三期長崎県教育振興基本計画の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長</p>	<p>(1) 教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の育成に資する内容の構成と</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「もっと考えよう課」というコーナーで、より発展的な課題や情報を与えることで、自ら考え、よりよい生活をしようとする実践的な態度を養うことができるよう配慮されている。</li> <li>「体の発育・発達」では、生まれた頃から成人する未来までの写真を掲載し、体や心の変化をイメージしやすくすることで、生命を尊ぶ態度を養うことができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「かがくの目」「ほけんのはこ」などのコーナーで、興味・関心を高めたり、学びをより広げたりすることで、幅広い知識を身に付け、実践的な態度を養うことができるよう配慮されている。</li> <li>「体の発育・発達」の「もっと知りたい・調べたい」では、性についての心の多様性の情報を掲載することで、個性や多様性を認め生命を尊重する態度を養うことができるよう配慮されている。</li> </ul>
	<p>(2) ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「体のよりよい発育・発達と生活のしかた」では、本県で盛んな農業や水産業と関連のある食品の挿絵を用いることで、地産地消の推進や食育との関連を図ることができるよう配慮されている。</li> <li>「地域での安全」では、着衣泳や遊泳区域を示す設備などの海の事故に関連する写真や挿絵を掲載することで、海に囲まれた本県の安全教育との関連を図ることができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「よりよい発育のために」では、成長に大切な栄養素として給食の食材を取り扱うことで、栄養バランスの大切さを学習し、地産地消の推進や食育との関連を図ることができるよう配慮されている。</li> <li>「犯罪被害の防止」では、安全な環境をつくるための地域の活動を写真で取り扱うことで、ふるさとの安全への関心を高めることができるよう配慮されている。</li> <li>「けがの防止」の「もっと知りたい調べたい」では、津波避難場所や気象特別警報などについて写真や図表を用いて取り扱うことで、海に囲まれた本県の安全教育との関連を図ることができるよう配慮されている。</li> </ul>

### Ⅲ 具体項目

観点	発行者	東 書	大日本	大修館
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長	(1) 基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得されるよう工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各項目末に、学習の要点をまとめたり、学習を自己の生活に生かすための活動を設けたりすることで、基礎的・基本的な知識・技能の習得ができるよう工夫されている。</li> <li>学習課題を調べる・解決する場面では、図表・挿絵・写真・実験結果などのさまざまな情報を効果的に示すことで、基礎的・基本的な知識・技能の習得ができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動から導き出される学習内容を分かりやすく挿絵や写真で示すことで、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されている。</li> <li>「実習」のコーナーでは、挿絵を用いて手順を分かりやすく解説することで、基礎的・基本的な知識・技能を実感を伴って習得することができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>導入、課題解決活動、まとめのシンプルな学習過程にすることで、学習時間が保証され、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されている。</li> <li>課題を解決する資料として、挿絵や図表などを用いることで、基礎的・基本的な知識・技能を実感を伴って習得することができるよう工夫されている。</li> </ul>
	(2) 知識・技能を必要に応じて活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各項目の導入として、生活場面を想起させる写真や挿絵などの情報を多く掲載することで、健康課題に気付いたり、見つけたりすることができるよう工夫されている。</li> <li>他教科や他学年の保健の内容との関連をマークとともに随所に示すことで、より深く思考することができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各項目に「つかもう」を設定し、興味・関心を引き出し、学習課題を明確にすることで、身に付けた知識・技能を活用して思考することができるよう工夫されている。</li> <li>友達と話し合ったり、教科書に記入したりする欄を多く設定することで、思考力、判断力、表現力等の育成につなげることができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各項目の導入として、身近な生活の中から課題を発見できる「課題をつかもう」を設定することで、身に付けた知識・技能を活用して思考することができるよう工夫されている。</li> <li>「話し合おう」では、話合いの基になる挿絵や図表を掲載することで、思考力、判断力、表現力等の育成につなげることができるよう工夫されている。</li> </ul>
	(3) 主体的に学習に取り組む態度が身に付くよう工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各項目の「気づく・見つける」では、学習の課題を見つけるための写真や挿絵などを1ページに掲載することで、自分事として考え、主体的に学習を進めることができるよう工夫されている。</li> <li>「資料」のコーナーで学習内容に関連した資料を多数掲載することで、主体的かつ発展的に学習を進めることができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習の課題に気付いたり、見通しをもったりするための「学習ゲーム」を各単元の始めに設定することで、興味・関心をもって主体的に学習を進めることができるよう工夫されている。</li> <li>冒頭に「活動を行うときのヒント」を提示することで、見通しをもち、主体的に学習を進めることができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3・4年の巻頭「なぜほけんを学ぶのかな」では、保健を学習する意義を漫画で説明することで、保健の学習を自分事として捉えて主体的に進めることができるよう工夫されている。</li> <li>「もっと学びを広げよう深めよう」のコーナーを設定することで、主体的かつ発展的に学習を進めることができるよう工夫されている。</li> </ul>

Ⅲ 具体項目

観点	発行者	文教社	光文	学研
<p>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(1) 基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得されるよう工夫されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題解決活動を通して、分かったことや気付いたことを「学習のまとめ」として言葉でまとめることで、基礎的・基本的な知識・技能を習得することができるよう工夫されている。</li> <li>写真や挿絵を使って、身近な生活場面にある課題に気付かせることで、基礎的・基本的な知識・技能を実感を伴って習得することができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元末の「さらに広げよう深めよう」で興味・関心を広げるコーナーを設けることで、基礎的・基本的な知識・技能を確実に定着させることができるよう工夫されている。</li> <li>科学的な資料や専門家の解説をコーナーとして設けることで、学習内容の理解を深め、基礎的・基本的な知識・技能を習得することができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>導入場面で写真や挿絵を活用し、生活や経験を具体的に振り返る場面を設けることで、基礎的・基本的な知識・技能を習得することができるよう工夫されている。</li> <li>実験や運動、呼吸法などの実習を取り上げることで、基礎的・基本的な知識・技能を実感を伴って習得することができるよう工夫されている。</li> </ul>
	<p>(2) 知識・技能を必要に応じて活用して課題を解決する力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題解決のための視点を大きく2つに分けることで、課題を明確にし、図表などの資料を基に思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。</li> <li>各項目のまとめとして「もう一步先の自分へ」というコーナーを設けることで、習得した知識・技能をこれからの生活で活用することができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えをもったり話し合ったりする活動を活性化させるための視点を、キャラクターの言葉として提示することで、思考力、判断力、表現力等の育成につなげることができるよう工夫されている。</li> <li>自分の考えを記入する欄を設けることで、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等の育成につながるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分で考え、友達と考え、身に付けたことを生かすという流れで構成することで、課題解決に向けた思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。</li> <li>自分や友達考えを整理し、記入する欄を多く設定することで、思考力、判断力、表現力等の育成につなげることができるよう工夫されている。</li> </ul>
	<p>(3) 主体的に学習に取り組む態度が身に付くよう工夫されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各項目に「学習のめあて」や「Mission」（学習内容）を明記することで、見通しをもって、主体的に学習を進めることができるよう工夫されている。</li> <li>単元末に「これからの自分の課題を考えよう」のコーナーを設定することで、学習したことを自分事として捉え、主体的に学習を進めることができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各章の導入として学習内容のイメージがつかめる漫画を掲載することで、興味・関心をもって主体的に学習を進めることができるよう工夫されている。</li> <li>各項目末に「学んだことを生かそう」のコーナーを設定することで、学習内容を自分事として捉え、主体的に学習を進めることができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実際に試したり、考えたりしてみたい資料を設けることで、興味・関心をもって主体的に学習を進めることができるよう工夫されている。</li> <li>各項目の導入として「学習の進め方」を提示することで、毎時間の学習への見通しをもって、主体的に学習を進めることができるよう工夫されている。</li> </ul>

### Ⅲ 具体項目

観点	発行者	東 書	大日本	大修館
<p>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(4) 健康の大切さを認識するとともに、健康によい生活の大切さに関心をもち、構成になっ生活の統けることにつ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「けんこうによい1日の生活」では、健康状態の異なる二人の生活を比較する資料と自身の生活リズムを記述する欄を設けることで、健康によい生活リズムについて、自分事として考えることができるよう工夫されている。</li> <li>「けんこうによいかんきょう」では、部屋の明るさや換気について、問題点と改善点を考え記入する欄を設けることで、身の回りの環境を整える必要性を理解することができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「けんこうってなんだろう」では、健康だと思うときや健康に過ごすために大切だと思うことについて話し合う場面を設定することで、健康な生活の良さについて、具体的に考えることができるよう工夫されている。</li> <li>「1日の生活のしかた」では、運動、食事、睡眠・休養の関わりを視覚的に示すことで、生活リズムを整える大切さを理解することができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「大切なけんこう」では、生き生きと活動する児童の写真や挿絵を基に、健康について大切だと思うことを話し合い、考えを記述する欄を設けることで、健康な生活について、具体的に考えることができるよう工夫されている。</li> <li>「身の回りのかんきょうとけんこう」では、環境を整える大切さに気付かせるとともに、「もっと学びを深めよう」のページに詳しい資料を掲載することで、環境を整えるための具体的な方法について、理解を深めることができるよう工夫されている。</li> </ul>
	<p>(5) 年齢に伴う発育・発達の変化及び個人差と思春期の体の変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「思春期にあらわれる変化」では、シルエットから男女の違いを予想したり、関連する写真や図表を掲載したりすることで、男女の体つきの変化や特徴について理解することができるよう工夫されている。</li> <li>「よりよく成長するための生活」では、運動、食事、休養・睡眠が成長にもたらす効果について資料を掲載することで、体の発育・発達には適切な運動、食事、休養・睡眠が必要であることを理解することができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「年れいとともに変化する体」では、入学時からこれまでの自分の身長を記録したり図表に表したりすることで、体が発育することや個人差があることを実感を伴って理解することができるよう工夫されている。</li> <li>「思春期にあらわれる体の中の変化」では、写真や挿絵、図表を掲載することで、思春期の体つきの変化や初経、精通などがおこることについて理解することができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「育ちゆく体の変化」では、自身の成長について図表に記入する欄を設けることで、自分自身の成長を視覚的に捉え、変化に気付くことができるよう工夫されている。</li> <li>「育ちゆく体の変化」では、6人の人物の身長の伸びを図表で比較して示すことで、体は年齢に伴って変化することや個人差があることを捉えることができるよう工夫されている。</li> </ul>

### Ⅲ 具体項目

保健

観点	発行者	文教社	光文 学研
<p>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(4) 健康の大切さを認識するとともに、健康によい生活が続けられること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「けんこうと体のせいけつ」では、清潔を保つための手洗いの仕方について写真を多数提示することで、体を清潔に保つことの必要性や方法を実感的に理解することができるよう工夫されている。</li> <li>「けんこうによい生活かんきょう」では、教室の環境を見直し、改善点を考える場面を設けることで、生活環境についての理解を深めることができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「1日の生活のしかた」では、二人の1日の生活のしかたを比べ、一方が元気である理由と、もう一方の生活の改善点を記入する欄を掲載することで、健康によい生活の仕方について考えることができるよう工夫されている。</li> <li>「体の清潔」では、手の汚れ調べや細菌の培養の写真、衣類の汚れの染め出しの写真を掲載することで、清潔と健康の関係を実感を伴って理解することができるよう工夫されている。</li> </ul>
	<p>(5) 年齢に伴う発育・発達の変化及び個人差と思春期の体の変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「思春期の体の変化」では、父母や兄姉の話を示したり、写真や挿絵を掲載したりすることで、思春期になると次第に大人の体に近づくことを理解することができるよう工夫されている。</li> <li>「思春期の心の変化」では、異性との関わりについて、幼いころと比較したり兄姉の話を示したりすることで、異性への関心の芽生えと関心には個人差があることを理解することができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「変化していくわたしの体」では、実物大の手形や足形の写真、衣服や靴の比較写真などを提示することで、体の成長を視覚的に捉えることができるよう工夫されている。</li> <li>「思春期の体の変化②」では、年長者の体験談や写真、図表を用いることで、思春期の体の中で起こる変化について捉えることができるよう工夫されている。</li> <li>「体の中で起こる変化」では、写真や挿絵、年長者の経験談等を掲載することで、思春期における体の変化や異性への関心が芽生えること、変化には個人差があることについて理解を深めることができるよう工夫されている。</li> <li>「よりよい発育・発達のために」では、運動、食事、休養・睡眠が発育・発達に関係していることへの理解を基に、今後の目標を記述する欄を設けることで、生活実践へと結び付けることができるよう工夫されている。</li> </ul>

### Ⅲ 具体項目

観点	発行者	東 書	大日本	大修館
<p>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(6) 心は相互年齢と影響し合っていることか。緩和できるような内容、対処の構成と方法を</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「心と体のつながり」では、心の状態による体の変化や、体の状態による心の変化について記入する欄を設けることで、心と体は影響し合い密接な関係があることを理解することができるよう工夫されている。</li> <li>「不安やなやみがあるとき」では、心を鎮めるための呼吸法と軽い運動について詳しい方法を示すことで、不安や悩みがあるときの簡単な対処を实践することができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「心の発達」では、感情、社会性、思考力の具体例を時系列で示すことで、心は、いろいろな生活経験を通して、年齢に伴って発達することを理解することができるよう工夫されている。</li> <li>「不安やなやみがあるとき」では、自分なりの対処方法を記述する欄を設けることで、課題の解決に向けて具体的に考えることができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「心の発達」では、心の発達と人との関わりの広がり関係を挿絵で示すことで、心は、生活経験や学習を通して、年齢に伴って発達することを理解することができるよう工夫されている。</li> <li>「不安やなやみへの対処②」では、具体的な場面を例に様々な対処法を挿絵で示すことで、不安や悩みに対処するために様々な経験をすることが大切であることを理解することができるよう工夫されている。</li> </ul>
	<p>(7) けががもたらす原因や防止の方法について理解することか。構成になっているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「事故やけがの原因と防止」では、挿絵の中の危険な場面の原因を、人の行動と環境に分けて記述する欄を設けることで、事故やけがは、人の行動と周りの環境が関わり合っておくことを理解することができるよう工夫されている。</li> <li>「犯罪被害の防止」では、犯罪被害が起りやすい状況を選択したり、犯罪が起りやすい遊び場を比較したりする資料を示すことで、被害を未然に防ぐための行動をとることや環境を整えることについて、考えることができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「交通事故の防止」では、事故原因のグラフや自動車の内輪差や死角についての挿絵を掲載することで、交通事故の原因を人の行動と自動車の特徴から具体的に理解することができるよう工夫されている。</li> <li>「けがの手当」では、複数のけがの種類や程度に合った手当の方法について挿絵で示すことで、清潔、圧迫、冷やすといった簡単な手当の実習を通して理解することができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「交通事故の防止」では、身近な通学路での交通事故を防止するための安全な行動について記述する欄を設けることで、危険の予測や回避の方法を考えることができるよう工夫されている。</li> <li>「学校や地域でのけがの防止」では、学校や地域での安全な環境づくりについて、豊富な写真を掲載することで、実践されている取組を具体的に理解することができるよう工夫されている。</li> </ul>



### Ⅲ 具体項目

保健

観点	発行者	文教社	光文 学研
<p>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(6) 心の影響は年齢とともに発達すること、不安や理解し及ぶ心と体は相互に、構成となつていけるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「心と体の関わり合い」では、対照的な二人の心と体の状態について比較できるような挿絵を示すことで、心と体が互いに深く影響し合っていることを理解することができるよう工夫されている。</li> <li>「不安やなやみへの対処①」では、相談したことで悩みの解決に至ったエピソードを掲載することで、不安や悩みへの対処の一つとして、大人や友達に相談することの大切さを理解することができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「心の発達」の学習では、心が発達すると思うことを記入し、学級で話し合う構成とすることで、様々な経験が心を発達させることについて理解することができるよう工夫されている。</li> <li>「不安やなやみへの対処」では、不安や悩みへの対処の例を複数示すことで、様々な対処法があることを理解することができるよう工夫されている。</li> </ul>
	<p>(7) けがが発生する原因や防止の方法について理解することができるような内容、構成になっているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「地域での安全」では、水の事故や犯罪被害の原因について考え、その後、事故や被害を防止する方法について考えたり、安全を守る取組について調べたりするという順に資料を掲載することで、原因と回避の方法を関連付けて考えることができるよう工夫されている。</li> <li>「けがの手当」では、けがをした場面を挿絵で具体的に示すことで、自分で手当をしたり、近くの人に助けを求めたりする等、的確な状況判断が大切であることを理解することができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「学校や地域でのけがの防止」では、危険の予測や環境整備について、写真や挿絵を複数掲載することで、事故の未然防止や適切な行動について理解することができるよう工夫されている。</li> <li>「けがの発生」では、学校や身の回りで起きる事故について複数の図表や事例を通して考える学習活動を示すことで、事故には人の行動と周りの環境が関わっていることを理解することができるよう工夫されている。</li> <li>「学校や地域でのけがの防止」では、けがを防止するための適切な行動について判断し、理由を記述する欄を設けることで、危険の予測や回避の方法について学んだことを生かして表現することができるよう工夫されている。</li> </ul>

### Ⅲ 具体項目

観点	発行者	東 書	大日本 大修館
<p>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(8) 病気の発生要因や予防の方法、喫煙、飲酒、薬物乱用が健康に与える影響について理解を深めること、地域に構成されているか。かわる様々な活動が行われていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「感染症の予防」では、学級で友達が嘔吐した際の教師の対応の理由について考えを記入する欄を掲載することで、病原体が主な要因となって起こる病気の予防について理解を深めることができるよう工夫されている。</li> <li>「薬物乱用の害と健康」では、薬物の害について具体的にイメージできるよう、写真や挿絵とともに説明を示すことで、薬物乱用が引き起こす問題、依存性等について理解することができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「生活習慣病の予防②」では、健康によくない食生活について改善点を記述する欄を設けることで、望ましい生活習慣についての理解を深めることができるよう工夫されている。</li> <li>「飲酒の害」では、写真や挿絵を複数掲載することで、20歳未満の飲酒が禁止されていることとその理由について理解することができるよう工夫されている。</li> </ul>

### Ⅲ 具体項目

観点	発行者	文教社	光文	学研
<p>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(8) 病気の発生の要因や予防の方法、地域においいて理解を深める内容、喫煙、飲酒、薬物乱用が健康に与える影響について理解を深める内容、構成になっているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「病気の起こり方」では、かぜ等の身近な病気の原因を考え話し合う資料を掲載することで、病気はいくつかの原因が重なり合って起こることを理解することができるよう工夫されている。</li> <li>「喫煙の害と健康」では、受動喫煙の影響に関する写真や挿絵を複数掲載することで、周囲の人の健康にも影響があることを理解することができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「感染症の予防」では、写真や図表、挿絵で感染源、感染経路、抵抗力について示した上で、感染症予防のために取り組むことを記述する欄を設けることで、病気の予防や回復について考えることができるよう工夫されている。</li> <li>「生活習慣病の予防」では、生活習慣病や虫歯を予防するための友達への助言を記述する欄を設けることで、望ましい生活習慣について理解したことを表現することができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「生活習慣病の予防②」では、虫歯の起こり方や虫歯になりやすい生活の仕方について、二人の生活を比べる資料を掲載することで、口腔を清潔に保ち虫歯や歯周病を予防できることを理解することができるよう工夫されている。</li> <li>「薬物乱用の害」では、薬物をすすめられた場合の対応の誤りを指摘し、記述する欄を設けることで、薬物乱用が厳しく禁止されていることの意味を理解を深めることができるよう工夫されている。</li> </ul>

Ⅲ 具体項目

観点	発行者	東 書	大日本	大修館
<p>3 学習効果や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記・表現や体裁の特長</p>	<p>(1) 文章は、分かりやすく、質・量ともに豊かな記述内容となっているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真や挿絵の内容を説明する文章の量を豊富にすることで、情報が充実するよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵や図に関する解説を簡潔に示すことで、分かりやすくなるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の量を豊富にすることで、情報が充実するよう工夫されている。</li> </ul>
	<p>(2) 写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>普段の生活によくあるような場面の大きな写真や挿絵を用いることで、身近な例から学習課題を見つけることができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真や挿絵を多く用いることで、見た情報から学習効果を高めることができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真や挿絵、図表を豊富に用いることで、学習する内容を深く理解することができるよう配慮されている。</li> </ul>
	<p>(3) レイアウトや紙質、製本等については、挿絵の活用、紙質、製本等に配慮されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>考えたことを書く箇所を豊富にかつ適切に設けることで、学んだことや考えたことをいつでも確認できるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1時間の学習の流れが分かるようなゆとりのあるレイアウトを用いることで、見やすい紙面になるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真や挿絵を見やすく配置し、学習の流れが分かるようなレイアウトを用いることで、迷いなく学習に取り組むことができるよう配慮されている。</li> </ul>

### Ⅲ 具体項目

保健

観点	発行者	文教社	光文 学研	
<p>3 学習効果や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記・表現や体裁の特長</p>	<p>(1) 文章は、分かりやすく、質・量ともに豊かな記述内容となっているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵や図のレイアウトに合わせて文章を簡潔にすることで、分かりやすくなるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章を豊富にし、写真や挿絵の内容についても詳しく解説することで、情報が充実するよう工夫されている。</li> </ul>	
	<p>(2) 写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題解決の支援となるような写真や挿絵を用いることで、学習内容を生活に生かすことができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活上の課題を描いた挿絵を豊富に用いて、その改善方法を考えて記入する欄を設けることで、思考力や表現力を高めることができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大きく鮮明な写真や挿絵を用いることで、学習課題を明確することができるよう配慮されている。</li> </ul>
	<p>(3) レイアウトや色彩、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ページ上部にめあてと学習内容を示し、1時間の学習の流れが分かるようなレイアウトを用いることで、迷いなく学習に取り組むことができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文や資料が混同しないようにゆとりのあるレイアウトを用いたり、記入欄を大きくしたりすることで、見やすく使いやすくなるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1単位時間4ページで構成し、学習の進め方を確認するコーナーを設けることで、見通しをもって学習を始めることができるよう配慮されている。</li> </ul>